

別紙 2 - 2

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 4 年 1 月 13 日 (17 : 45 ~ 19 : 45)
------------------	---

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー 松本・高瀬・山内・藤原・藤本・三輪・濱川
--------------------	---------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	人	人	7 人

前回の改善計画	記録やミーティングの徹底により、スタッフ全員が本人理解を深められるようにする。朝の引継ぎ時での情報共有や対応についてのミーティング内容もその場にはいない職員全員が確認できるように適宜連絡帳に記録し、統一したケアを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	朝と夜勤時の申し送りをしっかり行い、情報の共有は徹底をしました。また勤務が少ない職員や夜勤のみの職員もいる為、業務連絡帳を活用し記載印を押すことで共有の確認も実施しています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1 人	6 人			7 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1 人	5 人	1 人		7 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2 人	4 人	1 人		7 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1 人	4 人	2 人		7 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新しい方については利用前に得た情報を書面で皆に共有し口頭でも伝えた。可能なら体験利用もしてもらいよりスムーズに受け入れる事も行った。本人様とのコミュニケーションは当然ながら、同居されている時は送迎時や、独居の方なら電話等でご家族にも確認を行い、本人様の理解に努めている。送迎、訪問時に得た情報は申し送りや業務連絡帳に記載し共有している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
常勤職員に各利用者様の担当を振り分け、ケアプランをもとに個別援助計画書を作成し、統一介護を行うよう努めているが、状態変化に対し口頭や連絡帳のみで個別援助計画に反映出来ていなかったり、内容更新後も以前の動きのまま支援を継続したりと、人による意識の差がまだ解消できていない面がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
新規契約の際には可能な限りの情報を得るよう今後も努める。ケアプランからの個別援助計画による支援をより徹底化し、会議の際に変更点等の確認を行い、常に適した介護支援を継続する。人による意識の差は根気よく伝える事で少しでも解消を目指していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 13 日 (17:45 ~19:45)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 松本・高瀬・山内・藤原・藤本・三輪・濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6人	人	1人	7人

前回の改善計画	
・アセスメントシートを活用し、利用者・家族への思いを文章化できる。 ・いつも、「～したい」を聞き取れるよう意識し、特に個別に関わる入浴介助の際や送迎の車の中などリラックスできる雰囲気の中で知り得た情報は、職員間で共有する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
アセスメントシートを記載しての思いの汲み取りはほとんど行えなかった。ただ、送迎や入浴その他、本人様と気軽に話せる環境の時は、言葉かけに注意しながら思いを探る事はおおよそ行なえたと思う。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		1人	5人	1人	7人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2人	4人	1人	7人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		2人	4人	1人	7人
⑤	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		1人	5人	1人	7人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
リラックスした場面で会話の中に知りたい事を交え、問いかけを行ったりは出来た。新たな気持ちや思いの発言が見られた際は皆で共有するようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員による意識の差がまだまだ見られる。また多くの方が認知症を患っておられ、問いかけや声掛けへの反応も薄い場合も多い。また、思いを聞き出せてもそれぞれの環境により実現困難な例もあり計画的な動きがなかなか行えない面もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
担当制を継続していく事で、利用者への関心度をより高める事に努める。限られた職員だけがまとめるのではなく、全員で関わり利用者・ご家族の望まれる事を見出していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 13 日 (17:45 ~19:45)

3. 日常生活の支援

メンバー 松本・高瀬・山内・藤原・藤本・三輪・濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	1人	人	7人

前回の改善計画
・アセスメントシートを活用し、利用者の人生を理解し、現状のその方の力を理解できる。 ・過剰なケアでなく、利用者の意欲を引き出し、自発性を促せるケアを心がけるために、その日の変化など職員間の情報共有を確実に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
アセスメントシートを記載しての思いの汲み取りはほとんど行えなかった。過剰ケアについては本人様の自助能力を活かす事を十分注意し、支援内容についても個々の状況に合わせて考慮し対応しました。変化については申し送りや連絡帳で共有をはかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			6人	1人	7人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1人	6人			7人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		3人	3人		6人 無1人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2人	5人			7人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1人	6人			7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個別援助計画の検討会や職員会議、日々の申し送り等で変化や異常などが発生した際は介護、看護で協力をはかり、場合によっては家族にも協力要請をしながら対応を行った。状況によっては隣りにある西井Cにお連れしたりと対応が後手にならないようにも注意しました。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らしの10個以上はご家族に協力を得てもなかなかあぶり出しができない面が多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
自発性を促すケアを今後も継続していく事と、自尊心にも十分配慮したケアを行うようにする。認知症を理解した上での認知症ケアをするために研修や互いの意見交換を会議時にもうけ実践に活かしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 13 日 (17:45 ~19:45)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松本・高瀬・山内・藤原・藤本・三輪・濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	2人	2人	7人

前回の改善計画
地域の方との交流機会には、率先して参加できるようにする。そのためにも、地域の情報収集にいつも心がける。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ禍の継続により様々な交流の機会は本年も中止が多かったように思う。また職員全般に外に向けての意識がまだまだ低い面がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1人	2人	2人	2人	7人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		3人	2人	2人	7人
④	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3人	2人	2人	7人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1人	3人	3人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	民生委員さんから問い合わせあった際には支援内容を説明したり、近隣の方で状況が聞ける際には確認を行った。ご家族が同居の際は互いに情報を確認し理解を深めるように心掛けた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	コロナ禍による集まりの減少が未だ継続している。 事業所内において、全般的に外へ目を向ける意識がまだまだ低い。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	コロナ禍の継続で先が見えず、交流そのものが改善出来ない状況が続いていますが、ご家族を中心に状況の把握に努め、細かい糸口からでも様々な社会資源を活用できる場があれば、積極的に情報を取りに行く姿勢で利用者の支援を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 13 日 (17:45 ~19:45)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松本・高瀬・山内・藤原・藤本・三輪・濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	人	人	7人

前回の改善計画
体調変化に合わせ、柔軟な対応が出来るよう、主治医・看護師等との連携をより一層深める。また、各利用者と地域との関わりの状況を、会話の中で情報収集していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
看護師の勤務日数を増やし、医療・介護双方の面で変化への対応を行った。緊急の際は西井Cへ受診対応も行い対応の遅れを回避するよう心がけた。
会話における情報収集を意識しているが、どれだけ現状に反映出来たかは微妙に感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2人	5人		7人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1人	4人	2人		7人
②	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1人	6人			7人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	4人	2人		7人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
状態変化については、記録に残したり申し送り等で共有は出来ている。家族への連絡は連絡帳に基本記載していますが、緊急時は電話連絡で状況説明し、受診対応などの協力も行っている。主治医への連絡も適宜行っています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
こちらの受入れ環境が完全に整備出来ていない面で、利用者・ご家族に協力や一部希望に添えない面も発生させてしまっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
小規模多機能としてのサービス提供がまだまだ完全にはかかれていない。とはいえ限られた資源の中、出来もしない要望を安易に受け入れる事は出来ませんが、少しでもサービスが向上していく為の意識をそれぞれが持ち、個々が出来る最善の事を実践し望まれるサービス提供を目指していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 13 日 (17:45 ~19:45)

6. 連携・協働

メンバー 松本・高瀬・山内・藤原・藤本・三輪・濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2人	2人	3人	7人

前回の改善計画	地域の社会資源の一つとして地域住民に認識してもらえるよう、機会あるごとに参加する。また、発行している通信を地域にも発信していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍による影響で外部行事の開催中止が多く内部での行事参加が主となった。認知症カフェでの琴演奏会には皆で参加出来た。通信は発行しているものの、身近な配布のみで終わってしまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1人		6人	7人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1人		6人	7人
②	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1人	1人	5人	7人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1人	1人	5人	7人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 主治医との連携は比較的取れているが、それ以外の機関はケアマネのみの対応。 人権フェスタでは利用者の作品展示や開催時には訪問も行った。 自治体・包括の会議等には出来るだけ参加しているが中止も多かった。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍の影響もあるが、地域との交流がまだまだ少ない。認知症カフェにも参加しているが参加者が集まりにくい状況となっている。 地域の方が気軽に来れる場所に、立地的に適していない感も否めない思いもある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域の行事その他が再開されれば、少しでも参加をし交流をはかっていきたい。また、ご利用者もお連れした地域交流も目指したい。地域密着サービスとして、皆で外への意識を持ちつつ行事参加も行なっていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 13 日 (17:45 ~19:45)

7. 運営

メンバー 松本・高瀬・山内・藤原・藤本・三輪・濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	2人	3人	6人 無1人

前回の改善計画
地域イベントの参加などで地域の方との接点を増やす。また、顧客満足度調査は継続しながらご家族などからの苦情や要望を活かし運営につなげる。認知症カフェや運営推進会議など職員の参加を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ禍により地域との交流はあまりはかれなかった。家族との連携は日々実施しているが顧客調査は行えていない。カフェや運営推進会議(コロナ禍による中止もあり)の職員参加も意識がまだまだ薄い面がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1人	2人	2人	2人	7人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3人	3人	1人	7人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		1人	1人	5人	7人
③	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?			1人	6人	7人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人様、ご家族の要望・意見には可能な限り真摯に向かい対応をはかっている。運営推進会議で得た意見については共有をしている。いきいき塾や認知症カフェに参加し交流をはかるようにしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	コロナ禍だけが理由ではないが、まだまだ地域との交流が薄いと感じる。外への発信が不足している。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	人員の資源が限定されているためそれぞれの質の向上は元より、皆で関わる事が求められる中、小規模多機能サービスとしてやるべき事を会議等で繰り返し共有し理解を深めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 13 日 (17:45 ~19:45)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松本・高瀬・山内・藤原・藤本・三輪・濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	1人	人	7人

前回の改善計画	気づきを大切に、小さなことでもヒヤリと感じたことは報告書を作り、早期に検証して全職員に周知・啓発することで、リスクマネジメントに取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	気づいた事、お願いしたい事については業務連絡帳に記載し周知をはかっている。事故・ヒヤリ報告書については上部へ報告後、回覧による周知徹底を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		3人	1人	3人	7人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	1人	1人	4人	7人
③	地域連絡会に参加していますか		1人	1人	5人	7人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		2人	2人	3人	7人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 外部研修も中止が多かったが現場職員に必要と感じた研修には参加してもらった。看護師を軸に緊急時や利用者別の医療におけるリスク面を会議時に協議し、対策の共有を行った。認知症に関する各研修に参加をしました。いきいき塾での連絡会・交流会への参加も行いました。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍により外部研修がオンライン主体となっており、環境・動作面で一部の人員しか参加出来ない面があった。リスク防止に向けて最善の注意をはかっていたが、コロナ陽性による事業の一部休業(訪問以外)を発生させる状況を作ってしまった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 会議の際に医療や介護の研修も適時導入していく。また感染症対策についても年間を通しての対策として重要視していく。それぞれに認知症への理解をより深めていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 13 日 (17:45 ~19:45)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松本・高瀬・山内・藤原・藤本・三輪・濱川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2人	4人	1人	7人

前回の改善計画	タメ口などの言葉の乱れに各自が注意し、わかりやすい丁寧な言葉で対応する。虐待や成年後見制度について、十分な理解ができるよう研修の機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束はしていないが、言葉による乱れは会議他で周知しても、時間の経過でまた発生する傾向がある。意識することが希薄な面がまだまだ見られる。成年後見の研修は行っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7人				7人
②	虐待は行われていない	6人	1人			7人
③	プライバシーが守られている	3人	2人	2人		7人
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2人		3人	5人 無2人
⑤	適正な個人情報の管理ができている		7人			7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束は行っていない。プライバシーや個人情報は管理出来ており、広報誌等での写真も登録者全員に許可を得て作成・配布している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 身体拘束や暴力だけが虐待ではないとの認識がまだまだ薄い面が見られる。注意・共有しても時間の経過で忘れ元に戻る。 良い事悪い事を気軽に話せる職場環境にまだまだ近づけていない。(管理者責任) 成年後見自体をそもそも理解していない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 権利擁護の理解を深めていくために研修等で発信を行っていく。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 丹南厚生会	代表者	芝 拓哉	法人・ 事業所 の特徴	当法人は、高齢者の皆さまの尊厳を重んじ、その人らしい自立生活の支援を行いながら、共に助け合う地域社会の実現に向け事業を行っております。その中で、当事業所は平成29年12月に小規模多機能型居宅サービスとしてスタートしました。特別養護老人ホームやすらぎ園のバックアップを受けつつ、嘱託医でもある西井クリニックもすぐ隣りにあり、医療面においても協力をいただく中で、高齢者の皆さまが住み慣れた場所で長く暮らしていけるために、通い・泊り・訪問のサービスをそれぞれ個別に組み合わせをしながら、その人にあった支援内容でサービスを行っております。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護センター やすらぎ古市館	管理者	濱川 茂		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	1人	人	人	2人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務を通して、職員一人一人がその都度声かけ注意しあい、スキルアップの意識を持ち業務に取り組む。 運営推進会議を通して、事業所の運営状況をわかり易く多くの情報が報告出来るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めて自己評価に取り組んだ職員も多くいたが、それぞれが自分なりに意見を考え記載をしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントシートの活用は、是非行った方が良いと思う。 活動状況については、毎回しっかりと報告があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務の連携、情報共有はもちろんのこと、個別援助計画書に皆が真摯に取り組む事で、常にその人に適した支援内容を見つけ職員間で共有していく。 外部交流の場を少しでも多く見出していくよう努めたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備を、玄関やその周辺にも気を配る。 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介パネルの継続と更新、および利用者様の作品や季節に合わせた展示は継続している。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関前は殺風景な感はある。 以前は、玄関前にプランターを用意し、お花を飾っていたように思う。 玄関からE V前まで作品や、自己紹介等の飾りつけをしてくれているのは良いと思う。 彩り豊かな表現があると印象も違う。今後も継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関前にはご家族の協力も得ながら、お花など華やかな雰囲気作りを行う。 玄関からE V前までの間はこれまで通り、利用者の作品や小規模の情報などがわかるような演出を継続する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> (コロナ禍が落ち着いたら)地域の交流や行事などの活動計画を把握し、積極的に参加していく。広報誌などを活用し、事業所の機能や活動状況を地域に発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍も影響で外部行事等も中止が多くなかなか参加は出来ずじまいでした。 法人内で開催のあった行事等には積極的に参加を行なった。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌をもっと有効活用した方が良いのでは。(配布者が限定されている) 西井クリニックには、かかりつけの登録者も多いと思うので、作品、広報誌の掲示等できないか。出入りも多く、少しでも知名度を上げられないかなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の行事だけでなく、再開された地域の行事や交流の場に出来るだけ出向くようにしたい。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の状況に応じて、その地域の民生委員や近隣住民とも積極的に連携を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての利用者への近隣対応はまだですが、民生委員さんからの気になる利用者への問いや地域会議の参加などは実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、今までのような接触はなかなか難しい状況は何となく理解できる。 ・広報誌を見る限り、園内だけでなく、外部への行事参加や、ドライブを兼ねた外出などもよくされていると思う。 ・訪問で買い物の同行などはされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の経験で、直接的な関わりに大きな制限がかけられる中、今までと違う関わりや交流の方法を模索し、利用者の支援を継続していく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能というサービスを利用することで改善した事例などを紹介しながら、情報発信していくと同時に、委員との交流を深め、気軽に相談しやすい施設を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅看取りを希望された利用者に対し、家族、主治医、訪看、当事業所の多職種にて希望に添える対応が行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告での説明が毎回あるので、取組みは理解出来ている。 ・独居の利用者を多く受け入れており、状態の変化による対応も検討会で話をされている。 ・地域行事の中止が多く、交流の面がいまいちわからない。 ・小規模多機能サービスの認知度がまだまだ低く、デイサービスみたいに、すぐイメージとして思い浮かぶような感じにはまだなっていないと思う。知名度を上げる何かが必要。 ・次に担当してくれる自治会長代表は顔が広い方。いろいろ活かせるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議において、ご利用状況や活動内容を今まで以上に詳細に説明を行い 小規模の活動内容を理解してもらう。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練の機会があれば、積極的に参加すると同時に、地域資源として災害時に協力できる活動について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での訓練への参加は出来なかった。 ・ハザードマップの確認はしている。避難計画も提出している。災害の内容によっては、避難所よりも屋上へ退避する方がよい時もあるので、状況に応じた対応が必要と考えてます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や高齢者の施設などでは特に防災への意識を高くもつ必要があるように思う。 ・この事業所の場所自体も土砂崩れの危険があるエリアだったので。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で行う消防訓練を適切に実施し、夜間時の対応も全員で把握し共有する。 ・外部で防災関連の行事がある際は、可能な時は出来るだけ参加をしていく。

